



令和5年9月定例会

大館市議会会議録（第4号）

自 令和5年8月28日 開会
至 令和5年9月28日 閉会

大 館 市 議 会

8月28日（月曜日）

第1日目

令和5年8月28日（月曜日）

議事日程第1号

令和5年8月28日（月曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案の上程

1. 報 第19号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
2. 認 第6号 専決処分の承認について（令和5年度大館市一般会計補正予算（第5号））
3. 認 第7号 専決処分の承認について（令和5年度大館市一般会計補正予算（第6号））
4. 議案第75号 大館市印鑑条例の一部を改正する条例案
5. 議案第76号 大館市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案
6. 議案第77号 大館市駅なか交流センターに関する条例案
7. 議案第78号 大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
8. 議案第79号 大館市火災予防条例の一部を改正する条例案
9. 議案第80号 大館市役所比内総合支所空調熱源設備改修工事の請負契約の締結について
10. 議案第81号 財産の取得について（除雪グレーダ（4.0m級）1台）
11. 議案第82号 市道路線の廃止について（下代野下町線外4路線）
12. 議案第83号 市道路線の認定について（下代野下町線外3路線）

13. 議案第 84 号 令和 5 年度大館市一般会計補正予算（第 7 号）案
14. 議案第 85 号 令和 5 年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）案
15. 議案第 86 号 令和 5 年度大館市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）案
16. 議案第 87 号 令和 5 年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 1 号）案
17. 議案第 88 号 令和 5 年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）案
18. 議案第 89 号 令和 5 年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第 1 号）案
19. 議案第 90 号 令和 5 年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第 2 号）案
20. 議案第 91 号 令和 5 年度大館市病院事業会計補正予算（第 2 号）案
21. 議案第 92 号 大館市消防署北分署新築工事（建築工事）の請負契約の締結について

出席議員（26名）

1 番	吉 田 勇一郎 君	2 番	菅 原 喜 博 君
3 番	田 中 耕太郎 君	4 番	花 岡 有 一 君
5 番	藤 原 明 君	6 番	伊 藤 毅 君
7 番	秋 元 貞 一 君	8 番	佐々木 公 司 君
9 番	武 田 晋 君	10 番	今 泉 まき子 君
11 番	伊 藤 深 雪 君	12 番	小 畑 新 一 君
13 番	石 田 健 佑 君	14 番	柳 館 晃 君
15 番	田 村 秀 雄 君	16 番	田 村 儀 光 君
17 番	日 景 賢 悟 君	18 番	石 垣 博 隆 君
19 番	金 谷 真 弓 君	20 番	工 藤 賢 一 君
21 番	花 田 強 君	22 番	岩 本 裕 司 君
23 番	明 石 宏 康 君	24 番	相 馬 エミ子 君
25 番	吉 原 正 君	26 番	佐 藤 芳 忠 君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市	長	福 原 淳 嗣 君
副 市	長	名 村 伸 一 君
理	事	北 林 武 彦 君
総 務 部	長	日 景 浩 樹 君
総 務 課	長	佐々木 みゆき 君
財 政 課	長	若 松 健 寿 君

市 民 部 長	伊 藤 良 晋 君
福 祉 部 長	畠 沢 昌 人 君
産 業 部 長	畠 山 俊 英 君
観光交流スポーツ部長	阿 部 拓 巳 君
建 設 部 長	柏 山 一 法 君
会 計 管 理 者	成 田 政 仁 君
病 院 事 業 管 理 者	吉 原 秀 一 君
市立総合病院事務局長	桜 庭 寿 志 君
消 防 長	虻 川 茂 樹 君
教 育 長	高 橋 善 之 君
教 育 次 長	成 田 浩 司 君
選挙管理委員会事務局長	富 樫 太 君
農業委員会事務局長	鳥 潟 克 次 君
監 査 委 員 事 務 局 長	畠 沢 依 子 君

事務局職員出席者

次	長	長 崎 淳 君
係	長	萬 田 文 英 君
主	査	大 高 尚 吾 君
主	査	渡 部 慎 也 君
主	査	北 林 麻 美 君

午前10時00分 開 会

- 議長（武田 晋君） これより、令和5年大館市議会9月定例会を開会いたします。
出席議員は定足数に達しております。
よって、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
諸般の報告は、配付文書により御了承願います。
-
-

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（武田 晋君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本定例会の会議録署名議員は、7番 秋元貞一君、8番 佐々木公司君、10番 今泉まき子君を指名いたします。
-
-

日程第2 会期の決定

- 議長（武田 晋君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本定例会の会期は、本日から9月28日までの32日間と定めたいと思います。
これに御異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
- 議長（武田 晋君） 御異議なしと認めます。
よって、会期は本日から32日間と決定いたしました。
なお、会期中の会議予定につきましては、配付しております日程表のとおりでありますからさよう御了承願います。
-
-

日程第3 議案の上程

- 議長（武田 晋君） 日程第3、議案の上程を行います。
報第19号、認第6号、同第7号、議案第75号から同第91号まで、及び本日送付ありました議案第92号の以上21件を一括上程いたします。
提出者の説明を求めます。

〔市長 福原淳嗣君 登壇〕

- 市長（福原淳嗣君） 9月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、6月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、7月14日からの大雨による被害の状況と被災地への職員派遣について。7月14日から16日にかけて、東北北部に停滞した梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、県

内は広い範囲で大雨となりました。市では、秋田地方気象台の山本台長や能代河川国道事務所の平岡所長からのホットラインによる情報などを基に、情報収集と警戒に当たりました。15日午前4時15分に大雨警報が発表され、その後も雨は断続的に降り続き、アメダス大館観測所では15日の降水量が142ミリメートルを記録しております。米代川、長木川、下内川では水防団待機水位に、犀川は氾濫注意水位に到達しましたが、それ以上の増水はなく、16日午前中に全ての水防警報が解除されました。本市の被害状況は、8月21日現在、市道などの路肩崩落等が6か所、河川の堤防損失等が7か所、水田ののり面崩壊が1か所、農業用水路の埋塞等が6か所、農道及び林道の路肩崩落などが55か所、市有地ののり面崩落が2か所となっており、被害額は、土木施設で4,430万円、農林関係では8,831万円、計1億3,261万円となっております。取り急ぎ着手する必要性がありました測量設計に係る費用について8月4日に専決処分させていただきましたが、復旧工事などに係る費用については、本定例会に係る予算案の追加提出を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。一方、被害の大きかった秋田市、男鹿市及び五城目町からは、県を通じて応援職員の派遣要請があり、7月23日から職員を派遣しております。8月31日までの間、家屋の被害認定調査、罹災証明書発行、災害廃棄物仮置場の管理などに従事する職員、延べ216人を派遣することとしております。また、日本水道協会秋田支部からの要請を受け、断水が発生した井川町に給水車2台、職員6人を派遣したほか、八峰町には給水タンク2基を貸し出すとともに、給水パック3,000枚を提供しております。派遣先自治体の首長からは、災害対応で多忙な中にもかかわらず、感謝の言葉を頂いたところであります。市では、北東北の陸援隊として、資機材のさらなる充実を図りながら、大規模災害を想定した訓練を重ね、現場対応力の向上に取り組むとともに、引き続き、国、県をはじめ、防災協定を締結している自治体や民間団体との連携強化に努めてまいります。

2、大館市総合防災訓練の実施について。8月27日、真中公民館周辺を会場に、消防団、陸上自衛隊、警察署、自主防災組織、周辺町内会など36団体、約300人の参加の下、住民参加型の総合防災訓練を実施しました。大雨により河川が増水する中で震度6強の直下型地震が発生したことを想定し、情報収集伝達、避難、火災防御、ドローンによる災害現場偵察、土砂災害救出救助、高速道路での交通事故対処のほか、避難者の健康確認や要配慮者への支援を考慮した避難所開設運営など22種目の訓練を実施しました。また、防災啓発として、震度7までの揺れを体験できる地震体験車の展示や、国土交通省の御協力により浸水の疑似映像体験なども行いました。昨年8月の大雨や去る7月14日からの大雨など、本県においても自然災害が頻発、大規模化していることから、引き続き市民の防災意識の醸成と関係機関との連携強化を図り、市民の安全・安心確保のため、本市の防災力の向上に努めてまいります。

3、大館駅周辺整備事業の進捗状況について。建築中の大館駅新駅舎につきましては、駅舎外観がほぼ完成し、内装工事も順調に進んでいることから、開業日を10月29日と決定いたしました。当日は、関係団体をはじめ、市議会議員の皆様にも御参列いただき新駅舎完成記念式典

を開催することとしております。また、新駅舎開業に先立ち、10月15日には秋田犬の里の多目的広場を主会場に、新駅舎開業イベントを開催します。当日はJR大館駅前のにぎわいを創出するイベント、駅－o－n e. 2023の同時開催を予定しております。駅前広場などの周辺整備につきましては、仮駅舎解体の進捗に合わせ、順次着手していく予定としております。市民の皆様には、今しばらく御不便をおかけしますが、御理解をお願いいたします。なお、本定例会に、新駅舎に整備する市の施設、駅なか交流センターに関する条例案及び駅周辺整備に伴う関連予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

4、**大館市エコフェア**について。7月8日、9日の両日、ニプロハチ公ドームを会場にマンモスフリーマーケットと同時開催し、約9,000人に御来場いただきました。3Rを柱に資源の有効活用に向けた意識の醸成と環境リサイクル事業の周知を目的とするイベントで、市内外の環境団体やリサイクル関連の8企業がブースを設け、それぞれの活動や製品を紹介したほか、使用済み小型家電、いわゆるこでんや廃食用油の回収、ごみ収集車の展示などを行いました。今後も、二酸化炭素の排出と天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らす循環型社会の実現のため、3Rの普及啓発に努めてまいります。

5、**生活支援等給付金事業**について。電力、ガス、灯油などのエネルギー価格や食料品などの物価高騰による家計への影響が大きい住民税非課税世帯及び低所得の子育て世帯に対し、給付金を支給する2つの事業を実施しているところです。令和5年度住民税非課税世帯と家計急変世帯に、1世帯当たり3万円を支給する電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金事業は、6月30日付で対象世帯に確認書等を送付し、8月21日現在、8,156世帯に2億4,468万円を支給しました。また、児童扶養手当受給者等に対し、子供1人当たり5万円を支給する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業は、8月25日現在、771世帯に6,085万円を支給しました。今後も、全ての対象世帯に給付が行き届くよう、引き続き周知を図ってまいります。

6、**コロナワクチン接種**について。令和5年春開始接種は5月8日から実施しており、高齢者や基礎疾患のある方などを対象とし、総合病院を含む市内23の医療機関での個別接種や高齢者施設等の巡回接種により、8月22日現在、約1万7,100人が接種を終えております。令和5年秋開始接種は9月23日から実施予定で、生後6か月以上の全ての方が対象となります。使用するワクチンについては、現在の流行主流株であるオミクロン株XBB.1系統対応1価ワクチンとなる予定です。県の感染症情報センターによると、県内及び大館保健所管内の感染状況はともに増加していることから、今後も基本的な感染対策の励行とともに接種体制の確保に取り組んでまいります。

7、**带状疱疹ワクチン接種費用の助成**について。市では、带状疱疹の発症や重症化の予防に有効とされるワクチン接種について、接種費用に対する助成を8月1日から開始しております。対象は50歳以上の市民で、市内24の医療機関において接種を受けることができます。ワクチンは生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があり、生ワクチンの接種回数は1回で、5,000円を

助成、不活化ワクチンの接種回数は2回で、1回当たり1万円を助成いたします。事前に接種券の申請が必要で、8月22日現在、生ワクチンが78人、不活化ワクチンが111人と既に189人の方から申請がありました。带状疱疹の発症率や後遺症が残るリスクは高齢になるほど高くなるとされております。接種を希望される方はぜひ御活用ください。

8、農作物の生育状況について。 水稻については、平年より3日早い8月1日に出穂盛期を迎え、穂揃いは良好に推移しておりますが、7月上・中旬に、いもち病の発生が確認され、カメムシの発生も例年より多いことから、警戒と防除の徹底を引き続き呼びかけてまいります。また、7月からの高温の影響により、野菜については規格外品の比率が多くなったほか、収穫適期が重なったことによる収穫の遅れにより、品質の低下が見られます。比内地鶏については暑熱で死亡する被害が、採卵鶏については産卵率の低下が報告されております。4月に降霜被害を受けた果樹については、開花量、結実率とも例年に比べ低く、特に梨については、収量の大幅な減少が見込まれております。引き続き、関係機関と連携を密にして、農作物の管理徹底を推進するとともに、様々な事業を活用し、支援を行ってまいります。

9、熊・イノシシ・猿による被害状況と対応について。 8月21日現在、熊については、出没報告が144件で昨年同時期の1.8倍、農作物等の被害が28件、捕獲が過去最高の69頭と、行動の活発化や生息数の増加が推測されます。イノシシについては、出没報告が16件あり、農作物等の被害が12件発生していることから、専用のくくりわなを30基増設し対策を強化しております。猿については、出没報告が40件で昨年同時期の約1.8倍、農作物の被害が8件発生しております。今後は、農作物や果樹が収穫盛期を迎えます。野生動物の行動がより活発になることから、引き続きSNSやFMラジオおおだてで出没情報を迅速に発信するなど、一層の注意喚起を行うとともに、市の鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動の強化や、緩衝帯整備に取り組み、人身及び農作物被害の未然防止に努めてまいります。

10、企業の設備投資と雇用対策の状況について。 渋谷区に本社を置く株式会社本家あべやが、旧大葛小学校を活用し比内地鶏の食肉加工や通信販売商品の製造に向け準備を進めており、6月28日には、秋田県並びに本市と立地協定を締結し、同日付で県の誘致企業に認定されました。新規雇用については、操業開始予定の来年6月時点では6人、将来的には16人を見込んでおり、県と連携しながら同社の取組を支援してまいります。県営大館第二工業団地では、食品製造業の株式会社東北センバが生産設備を増強し、新たに6人が雇用されたところであり、今月、大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場に指定しました。一方、来春高校卒業予定者の就職希望状況については、6月末現在、就職希望者147人のうち県内希望者が107人で、県内就職希望率は72.8%と、依然として高い水準にあります。対する高卒求人状況は、前年同期比で14事業所、115人増の102事業所495人で、企業の採用意欲が急激に増大しており、7月25日にはハローワークとともに求人求職情報交換会を開催し、高校生91人と50事業者のマッチングを図ったところであり、このほか、今後を見据えた取組として、7月11日には、県やハローワー

クとともに31事業者の参加を得て、ふるさとお仕事博覧会を開催し、中学生451人に対して地元企業の魅力を伝えました。引き続き、関係機関との連携を密にしながら、若者の地元定着に努めてまいります。

11、**大館能代空港の利用状況等について。**大館能代空港の令和5年度の乗降客数は、7月末現在で5万5,646人であり、昨年度と比べ1万7,372人の増加となっております。運賃助成事業については、市民に加え保護者等が市内に在住する学生や市内の親族等を介護するため訪れる人を対象としたほか、パンデミック後のレジャー需要の拡大などにより申請件数が堅調に推移していることから、本事業に係る関係予算案を本定例会に提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。さらなる誘客と利用促進に向けた取組としては、6月にはANA X株式会社が運営するTOCHI-DOCHI東京駅八重洲口店で大館フェアを開催し、7月8日、9日には大阪国際空港で大館能代空港のPRを実施しております。また、7月18日には開港25周年記念式典を開催し、3往復運航の定着と圏域のさらなる発展に向けて気持ちを新たにしたところであり、引き続き、北東北の空の玄関口として広域連携を強化していくとともに、空路、鉄路、陸路のネットワークを最大限に活用し、一層の利用促進策を講じてまいります。

12、**JR花輪線の利用促進について。**8月10日、鹿角市で開催された花輪線利用促進協議会通常総会に出席し、今年度の事業計画などを審議したほか、意見交換を行ってまいりました。花輪線は、沿線住民の通勤や通学などの生活路線であることはもとより、ニューヨークタイムズ紙に取り上げられ、世界から注目を集めることとなった岩手県盛岡市とつながっていることから、広域周遊観光を支える路線として利活用を推進することを全会一致で確認したところがあります。また、7月24日に秋田県と協議会の共催で行われたJRローカル線活性化研究会では、ローカル線の再生に実績を持つ、えちごトキめき鉄道の鳥塚代表取締役社長から、市民参加による活性化や人材の発掘が重要であること、花輪線は大館能代空港が近くにあり、空路との連携が強みになるとのお話がありました。沿線自治体では様々な利用促進策が検討されておりますが、本市におきましては、10月28日に大滝温泉周辺で開催するONSEN・ガストロノミーウォーキングにおいて、花輪線の活用を予定しているほか、各種イベントのPRなどでも連携してまいります。国からは、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築に向けた議論が求められております。花輪線を存続していくためにも、秋田県や鹿角市はもとより、岩手県や岩手県内の沿線自治体とも県境を越えた連携を積極的に深め、利用促進に努めてまいります。

13、**サマースクールin秋田大館について。**8月11日から13日までの3日間、渋谷区観光協会の協力の下、サマースクールin秋田大館を開催しました。渋谷区の小学生20人が本市を訪れ、五色湖でのカヌー体験や秋田犬との触れ合い、夏の風物詩である大文字焼きや花火大会を楽しんだほか、山瀬小学校の児童と一緒にタケノコの皮を原料とした和紙作りに取り組むなど、本市の魅力に触れてもらいました。また、株式会社エコリサイクルを見学したほか、株式会社

TOMUSHIの石田健佑市議会議員からは、カブトムシを活用した廃棄物の資源化の取組についてお話を頂くなど、環境先端都市大館の産業について学んでもらいました。参加した児童からは「夏休みの忘れられない思い出ができた」と喜びの声が寄せられたほか、保護者からは「今度はぜひ家族で大館を訪れたい」とのメッセージを頂いております。石田議員、本当にありがとうございました。

14、台湾トップセールスについて。佐竹知事を団長とする県の台湾トップセールスが実施されること、また、4年ぶりに秋田空港と台湾桃園国際空港を結ぶチャーター便の運航が発表され、インバウンド誘致の好機でもあることから、8月23日、24日の2日間、武田議長に御同行いただき、台北市を拠点に本市のトップセールスを行ってまいりました。本市出身で台湾商工会議所初代会頭の木村泰治氏の足跡を訪ね、台湾と本市のつながりを再認識したほか、台湾と日本の歴史を研究し、木村泰治氏について執筆されている武蔵野大学の片倉客員教授と台北市で面談し、観光やインバウンド誘致など国際交流の促進に向け、本市への協力を快諾いただいたところです。また、日本のスポーツ庁に当たる中華民国教育部体育署を表敬訪問し、教育部スポーツ行政局のロ・チュージン秘書長との面会の中で、本市のスポーツによる国際交流としてポッチャを通じたタイ王国との関係性と先導的共生社会ホストタウンの取組を紹介し、意見交換してまいりました。ロ・チュージン秘書長からは本市の取組を高く評価いただいたところであり、今後、台湾とのスポーツ交流につながるものと期待しております。一方、県が主催した台湾と秋田の経済交流を深める晚餐会では、秋田・台湾経済交流特別顧問を務めていただいている東元グループの黄茂雄会長に御挨拶を頂きながら、県内自治体の首長、県内の商工団体や金融機関の代表者など約50人が参加し、今後のインバウンド拡大や台日交流の推進などについて、幅広く意見交換を行ってまいりました。今回のトップセールスを通じて築いた関係性を、産業やスポーツ、観光など様々な分野に生かしながら、ふるさと秋田のため、北東北の拠点都市として地域の活性化に向けた取組を進めてまいります。

15、ハチ公生誕100年事業について。(1)デジタル・ハチ公の展示。渋谷に本社を置くGMOインターネットグループ株式会社の御協力により、8月4日から11月30日までの間、秋田犬の里に展示しています。最新のデジタル技術を活用し、渋谷区観光協会と忠犬ハチ公銅像維持会の協力の下、生前のハチ公をモデルに作成された映像が、来場者を楽しませております。

(2)HACHIフェス in 渋谷。8月5日、6日の2日間、渋谷キャストを会場にHACHIフェス in 渋谷が開催され、オープニングセレモニー及び株式会社SGC製作の黄金の秋田犬親子の除幕式に参加してまいりました。会場にはHACHI 100パートナーによるオリジナル商品の販売やPRブースが設置され、多くの来場者でにぎわいました。「大館と渋谷めぐり会いではじめるイノベーション」と題したトークショーも行われ、大館で家業を継ぐ事業者と、渋谷を中心とする事業者とをつなぐ取組が紹介されました。本イベントは、11月に開催するHACHIフェス in 大館の100日前イベントとして開催したもので、本番に向けてハチ公生誕

100年事業実行委員会やパートナー企業などによる様々な取組を広くPRできたものと感じております。

(3)大館うたの日。8月11日、ニプロハチ公ドームにおいて大館うたの日を開催しました。渋谷との交流が深まる中、渋谷を第二の故郷と公言するBEGINとの出会いがあり、彼らの音楽に込められているふるさとを大切に思うメッセージと、大館を愛する私たちの思いがつながり、今回の開催が実現したものです。大館曲げわっぱ太鼓の力強い演奏に始まり、市の若手職員も参加した大文字踊りでは、会場全体に手拍子が鳴り響きました。BEGINの演奏が始まると会場はさらに盛り上がりを見せ、約2,000人の来場者の熱気と一体感に包まれました。御出演いただいたアーティストの皆様をはじめ、御協力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げます。なお、当日は渋谷区から杉浦副区長をはじめ8人の方々にお越しいただき、夜の大文字焼き、花火大会と併せて大館の夏を体感していただきました。

16、ONSEN・ガストロノミーウォーキンググランプリ受賞について。7月3日、ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構交流会が都内で開催され、令和4年度の開催地37か所の中から本市がグランプリを受賞しました。今回の受賞は、本市が平成29年度の初回から開催していることや、通算6回の開催実績、コース設定や提供料理の工夫などが評価されたものです。滞在型観光PRの一環であるこのイベントは、平成29年5月に本市が国民保養温泉地に指定されたことを受けて開催しており、温泉と食、景観の融合により、大館の新たな魅力を発見してもらうことや、滞在型観光客の増加による経済効果の波及を目的としております。今年度は10月28日に大滝温泉周辺で開催することとしております。JR花輪線の活用にも結びつけられるよう内容を検討中であります。このたびの受賞を励みに、さらに魅力的なイベントとなるよう努めてまいります。

17、夏のスポーツ事業について。(1)ハチ公きりたんぼライドのテストイベント開催。市とスポーツコミッション大館は、来年度、自転車を活用したスポーツツーリズムによる健康増進と観光客の増加を目的とした、県北初となる500人規模のサイクルイベント、ハチ公きりたんぼライドの開催を予定しております。これに先立ち7月30日に開催したテストイベントでは、大館市を中心として北秋田市、鹿角市にまたがり各地の名物や名所を楽しみながら巡るモデルコースを設定し、運営に当たっての課題の把握や全国から集まるサイクリストの受入れ態勢の検証を行いました。御協力いただいた地元サイクリングチームをはじめ、多くの企業や団体の皆様に改めて感謝申し上げます。今後は、来年度のイベント開催に向け、全国に広くPRし、サイクリストを呼び込む仕組みを構築するとともに、さらなるスポーツツーリズムの推進につなげてまいります。

(2)スポーツ合宿の誘致等。市では、スポーツを通じた交流人口の拡大や市内スポーツ選手のレベルアップを図るため、合宿の誘致等を推進しております。8月6日から21日までの期間、日本体育大学陸上部の中距離選手9人が、長根山陸上競技場を主会場に強化合宿を行いました。

期間中、市内の小・中学生を対象とした陸上教室を開催し、50人を超える参加者が国内トップクラスの選手から指導を受けました。また、8月19日から23日までの期間、本市出身で世界陸上メダリストの小林快さんのほか現役トップアスリートをコーチに迎え、競歩講習合宿を開催しました。全国から多くの参加を頂き、合宿期間中、選手たちと生活を共にし、トップレベルの練習やミーティングなどを通じて競技技術の向上を図りながら、充実した時間を過ごしていただきました。

18、**秋田県北部地域の基盤整備を促進する夏期要望活動について。**国の補正予算や来年度の骨格予算審議に合わせ、秋田県北部地域の道路・河川に係る11の期成同盟会が合同で、整備促進と予算確保に向けた要望活動を行い、私も日沿道建設促進秋田県北部期成同盟会会長及び米代川治水期成同盟会副会長として地元の声を届けてまいりました。7月24日には、能代市長、北秋田市長、鹿角市長、藤里町長、小坂町長、鱒ヶ沢町副町長、さらには大館市議会武田議長をはじめ各市町議会の議長とともに、国土交通省東北地方整備局を訪れ、安定的・持続的な予算確保と公共事業予算の拡充、日沿道の整備促進、米代川水系流域治水プロジェクトの推進などを要望いたしました。対応していただいた上森副局長には、7月14日から大雨に係る災害対応に当たり、能代河川国道事務所からのホットラインで逐次、情報を頂いたおかげで災害発生予想の72時間前から対応できたことに感謝申し上げるとともに、今回の災害で日沿道が経済面のみならず、防災面からも重要であることを再認識したところであり、その必要性を改めて訴えてまいりました。また、8月2日には、県北部地域の首長、議長のほか、大館商工会議所佐藤会頭をはじめとする商工団体代表者ととともに、国土交通省と財務省へ要望を行いました。当日は、金田勝年衆議院議員に御同行いただき、国土交通省の和田事務次官や、財務省の新川主計局長と面談し、道路整備と治水対策が地域の発展に大きく貢献していることを伝えてまいりました。和田事務次官からは「実態がよく分かった。国土強靱化の枠組みの中で予算を確保していきたい」とのお言葉を頂いたところであります。引き続き、日沿道の早期全線開通や防災・減災・国土強靱化が、地域の暮らしを守り、産業振興につながることを強く発信し、関係団体とともに秋田県北部地域全体の発展に寄与できるよう努めてまいります。

19、**第71回東北六縣市町村教育委員会連合会定期総会及び教育委員・教育長研修会の開催について。**7月6日、7日の2日間、東北六県の教育委員会が一堂に会する定期総会が本市で初めて開催され、127市町村から教育委員及び教育長538人が参加しました。初日は、プラザ杉の子において定期総会が開催され、当面する教育の諸課題について情報交換などが行われました。また、おおだて型授業による共感的・協働的学び合いにじかに触れていただくため、全ての市立小・中学校で公開授業を行いました。2日目は、高橋教育長が講演を行ったほか、文部科学省初等中等教育企画課の栗山課長補佐から令和5年度の教育施策の動向に関する説明がありました。今回の開催を通じ、本市の取組を広く発信することができ、参加者からは大館教育の先進性を高く評価していただきました。引き続き、本市の教育の成果を全国へ向けて発信し、教

育分野における交流人口のさらなる拡大につなげてまいります。

20、**常陸大宮市との教育交流について**。7月31日から8月2日までの日程で、城南小学校の6年生12人が友好都市協定を締結している常陸大宮市を訪問し、大宮小学校の児童と交流してきました。4年ぶりの訪問となった今回は、伝統産業の西ノ内和紙の紙すきやカヌー体験を行いました。江戸時代からつながる両市の歴史や地域の魅力、それぞれの学校について、事前にオンライン学習で共有してから訪問したことで、お互いの地域についてより一層理解を深めることができました。今後も交流を継続し、子供たちの視野を広げ、未来を担う人材育成に取り組んでまいります。また、昨年度から常陸大宮市教育委員会の小野教育長をはじめ教育関係者による大館教育の研修視察や、両市に関わる歴史資料の提供や情報交換など、多岐にわたる教育・文化交流を継続しているところであり、さらなる関係性の深化に努めてまいります。

21、**大館市20歳を祝う会について**。8月15日、ほくしか鹿鳴ホールにおいて、20歳を祝う会を開催しました。4年ぶりに入場制限なく行われた今回は、対象者の約7割、408人が出席し、級友や恩師との再会を喜ぶ姿が見られました。開催に当たり、ふるさと大館、ハチ公のふるさとへの思いを共にするため、HACHI100プロジェクト関連の記念品を贈呈したほか、パンフレットへの応援メッセージ掲載など、市内38の企業や団体に御協力いただき、全市を挙げてお祝いすることができましたことに深く感謝申し上げます。式典では、出席者代表から地域の方々への感謝や社会の一員としての決意が述べられたほか、恩師代表から激励の言葉が贈られました。出席者からは、大館で仕事をして地域に貢献したいとの声が多く聞かれ、将来を担う人財が着実に育っていることを実感し、大変心強く感じたところです。

22、**水難救助合同訓練について**。7月25日、青森県中泊町の漁港において、五所川原地区消防事務組合と合同で水難救助隊潜水訓練を実施しました。この訓練は、令和元年に締結した消防相互応援協定に基づき、水難救助における県境を越えた連携の強化と相互の災害対応力の強化を図ることを目的としたものです。今回が初の合同訓練であり、海域での潜水経験が豊富な五所川原消防事務組合から潜水知識や技術など多くのアドバイスを受け、スキルアップを図ることができました。また、7月14日には花岡総合スポーツ公園多目的プールにおいて大館警察署と、8月1日、2日には十和田湖において鹿角広域行政組合消防本部と合同訓練を行い、連携の強化と技術の向上を図りました。なお、8月25日に札幌市で開催された第51回全国消防救助技術大会の水上の部に本市消防職員が出場し、これまでの訓練の成果を披露いたしました。今後も、各関係機関との合同訓練を継続して行い、広域における連携の強化、水難救助技術の向上を図り、北東北の陸援隊として大規模災害時の備えに万全を期するとともに、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。

続きまして、提出いたしました議案につきまして、主な内容を御説明申し上げます。

報第19号は、専決処分の報告についてであります。

これは、本年4月11日に長根山公園内の園路において、樹木の枝が落下し、走行中の軽乗用

自動車を破損させた事故についての和解及び損害賠償であります。この事故につきまして、相手方と和解に至ったことから、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分をさせていただきましたので、御報告申し上げます。

認第6号及び認第7号は、令和5年度大館市一般会計補正予算（第5号）及び（第6号）に係る専決処分の承認についてであります。

認第6号は、令和4年度に予定申告で納付されていた法人市民税に、予定を上回る還付金及び還付加算金が生じたことから、関係予算として歳入歳出とも1,715万5,000円を追加計上することについて、7月24日付で専決処分させていただいたものであります。認第7号は、7月14日からの大雨により被害を受けた河川、農業用施設、林道などの復旧作業や 国の災害査定に向けた設計に早急に着手する必要があることから、歳入歳出とも3,169万5,000円を追加計上することについて、8月4日付で専決処分させていただいたものであります。

議案第75号は、大館市印鑑条例の一部を改正する条例案であります。

これは、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部が改正され、スマートフォン用電子証明書の利用が可能となったことから、コンビニエンスストア等に設置している多機能端末において、印鑑登録証明書の交付が受けられるよう所要の措置を講ずるとともに、窓口における個人番号カードを利用した印鑑登録証明書の交付手続について規定しようとするものであります。

議案第76号は、大館市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案であります。

これは、市内工業の振興を図るため、指定工場の要件について、新たに設備投資の額による基準を定めるとともに、一部条文の整備をしようとするものであります。

議案第77号は、大館市駅なか交流センターに関する条例案であります。

これは、本年10月29日に開業する大館駅において、市民や来訪者に交流の場を提供し、大館駅周辺の活性化と地域のにぎわい創出に資するための施設として大館市駅なか交流センターを設置するに当たり、本条例を制定しようとするものであります。

議案第78号は、大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正され、事業所における安全計画の策定に関する規定が追加されたこと等から、本市においても所要の措置を講ずるとともに、放課後児童支援員の資格要件の緩和措置を延長しようとするものであります。

議案第79号は、大館市火災予防条例の一部を改正する条例案であります。

これは、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部が改正され、蓄電池設備及び固体燃料を使用する火気設備に関する基準が見直されること等に伴い、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第80号は、大館市役所比内総合支所空調熱源設備改修工事の請負契約の締結についてであります。

これは、本工事について、去る7月27日に条件付一般競争入札を行ったところ、大館桂工業株式会社が2億9,000万円で落札したものであります。この請負契約の締結については、予定価格が1億5,000万円以上であることから、地方自治法及び本市条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案第81号は、財産の取得についてであります。

これは、老朽化した除雪グレーダを更新しようとするもので、予定価格が2,000万円以上であることから、地方自治法及び本市条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案第82号は、市道路線の廃止についてであります。

これは、都市計画道路の見直しに伴い、不要となった道路及び起点・終点に変更が生じる道路を廃止しようとするものであります。

議案第83号は、市道路線の認定についてであります。

これは、都市計画道路の見直しに伴い、起点・終点に変更が生じる道路を市道に認定し、管理しようとするものであります。

議案第84号は、令和5年度大館市一般会計補正予算（第7号）案であります。

今回の補正は、歳入歳出とも10億8,214万5,000円の追加で、補正後の予算総額は395億1,356万6,000円となる見込みであります。歳出の主な内容としましては、大館駅周辺整備事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、大館駅インランドデポ推進事業費、除雪費・除雪関連経費などを追加したほか、プレミアム付商品券発行事業費などを計上しようとするものであります。

また、第2条第2表に債務負担行為の補正を、第3条第3表には地方債の補正を、それぞれ御提案申し上げます。

議案第85号から議案第89号までの5件は、令和5年度大館市国民健康保険特別会計など各特別会計における補正予算案であります。

主な内容としましては、保険給付費等に係る前年度の給付実績に基づく精算や消費税の納付などの所要額を補正しようとするものであります。

議案第90号は、令和5年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。補正後の予算総額は、収入では消費税及び地方消費税還付金の増額により9,508万8,000円、支出では消費税及び地方消費税の減額により9,289万8,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で、補正後の予算総額は、水源調査業務委託費等の増額により8,181万5,000円となる見込みであります。

議案第91号は、令和5年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で、管理運営費等の増額により補正後の予算総額は、132億3,294万9,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。補正後の予算総額は、収入では企業債の増額により12億6,744万円となり、支出では医療機器購入費等の増額により16億1,054万1,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に企業債の限度額の変更をお願いしております。

議案第92号は、本日提出いたしました議案で、大館市消防署北分署新築工事（建築工事）の請負契約の締結についてであります。

これは、本工事について、去る8月9日に条件付一般競争入札を行ったところ、白川建設株式会社が3億5,154万9,000円で落札したものであります。この請負契約の締結については、予定価格が1億5,000万円以上であることから、地方自治法及び本市条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案の概要につきましては、以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（武田 晋君） これより、ただいまの上程議案に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（武田 晋君） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（武田 晋君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、9月4日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時58分 散 会
